

広域連携の促進と防災力強化のための道路整備  
について

桜井市における取組

【担当省庁】国土交通省

(現状・課題)

主要地方道桜井吉野線は、桜井と吉野・明日香・宇陀地域を結ぶ広域連携軸として、また災害時の緊急輸送道路として日常生活や産業活動を支える重要な路線であり、平成17年度より百市工区の改良事業が行われている。

このたび、バイパス区間420mが令和6年3月20日に部分開通された。

令和8年に登録が有力となっている「飛鳥・藤原の宮都とその関連資産群」の世界遺産登録が実現すれば、「山の辺地域」と「飛鳥・藤原地域」の歴史資産がつながり、より一層重要な役割を担う。

桜井市では、周辺市町村との広域連携により、観光や産業・農林業の振興等を図る好機と捉え関連施策を展開中であり、都市機能の維持・充実が期待される事業である。

当路線が経由する桜井市南部エリアは、観光業・農業分野において、市内中心部と吉野・明日香・宇陀地域をつなぐ、歴史と自然豊かなエリアとなっている。しかしながら、高齢化等により農業の担い手不足が懸念されるエリアでもある。

このため、桜井市では、農業に食の視点も加えた地域の賑わいづくり創出のため、奈良県が平成28年度に開校した「奈良県立なら食と農の魅力創造国際大学校（NAFIC）」を核に、農業者や商業者のマッチングを目的とした「NAFIC周辺賑わいづくり協議会」を平成30年度に立ち上げるなど、農業の魅力と商業の活性化のための取組を進めている。

さらに、令和4年9月に県がオープンした「NAFIC附属セミナーハウス」を活動の拠点に、食と農の魅力を発信し、地域の交流人口の増加を図り、中山間地域の活性化につなげていくよう取り組んでいる。

桜井吉野線（百市工区）部分開通 感謝申し上げます



国にお願いすること

主要地方道桜井吉野線の整備は、広域連携の促進や防災力強化に不可欠なものであり、県中部地域だけでなく県南部地域の観光や産業・農林業の振興等様々な施策展開に大きく寄与するものであることから、何卒、令和7年度奈良県全体の「防災・安全交付金」の総額確保に関しまして、特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。